

開催日時：令和6年8月9日（金） 8時30分から8時50分まで

開催場所：第2委員会室

出席者：高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長（山口議会事務局次長代理）、秦野教育次長、北澤消防長、佐々木財政課長、小室秘書課長、澤柳企画課長

会議内容

1 開会

2 理事者あいさつ

<副市長>

- ・昨日の夕方の九州での地震を受けて、国から南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）（以下「臨時情報」という。）が発出された。
- ・これから連休となりお盆を迎えるため、人が大勢動く時期である。
- ・情報共有をし、各部局で対応が遅れることのないよう万全を期すこと。

3 報告・連絡事項

- (1) 南海トラフ地震臨時情報の発表
- (2) 職員体制
- (3) 今後の見通し
- (4) 注意を要すること

《各部より その他懸念されること》

(産業経済部長)

- ・長期休暇により帰省者、観光客が増えることが見込まれる。宿泊施設との連絡体制を構築する。

(教育次長)

- ・学校は夏季休暇に入っているため、学校施設内での児童生徒の管理はない。
- ・体育館が避難所となった場合の暑さ対策が課題である。スポットクーラーなどが必要か。

(こども未来健康部長)

- ・保育所等について、一部の施設で希望保育を行っているが、人数は少ない。
- ・救護所の開設は、現行の体制で良いか。

(危機管理課長)

- ・防災計画の変更をしていないため、救護所は現行のままでお願いします。

(建設部長)

- ・建設業各社は休み中のため、緊急時の初動対応に遅れが生じる可能性があり、対応を検討する。

4 市長指示事項

- (1) 当面の職員体制について
- (2) 参集体制を改めて確認し、初動対応に万全を期すこと

(3) 資機材の動作確認、公用車等の燃料確保をただちに行い、巨大地震発生に万全を期すこと。

(4) 市主催イベント等の開催制限は行わない。

ただし、イベント開催中の地震発生に備え、参加者の安全に万全を期すこと。

5 その他、連絡事項

(危機管理課長)

・買い物に殺到する状況も予測される。実際に昨晚から並んでいる状況との情報もある。

(副市長)

・冷静な対応を心掛けながらも、日頃からの備えの再確認をすること。

・参集態勢については、南海トラフ地震の態勢を確認しておくこと。

(建設部長)

・防災農業用ため池の目視による予備点検を行う。

(副市長)

・産業経済部は、天龍峡公園の確認をしておくこと。

(企画部長)

・次回の臨時部長会議については、状況に変化があれば招集する。

6 閉会